

# 令和6年度 第1学年 理科 シラバス



1. 担当者 【片桐丈瑠・菊地滝太郎】

## 2. 理科の目標

- ① 身近な自然や身のまわりの現象に進んで関わるができる。
- ② 疑問をもち、それを解決するという目的意識をもって観察・実験を行うことができる。
- ③ 科学的にものごとを考えて、それを説明できる能力を育てることができる。
- ④ 身近な自然や身のまわりの現象についてのきまりや規則に対する理解を深めることができる。

## 3. 評価の観点・評価の方法について

観点	観点の目標		評価の方法
知識及び技能 [知識・技能]	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な知識及び技能を身につけている。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート(結果等)</li> <li>・[章末・定期]テスト</li> <li>・授業・実験観察方法</li> </ul>
	第1分野	身近な物理現象、化学変化と原子・分子、運動とエネルギーなど	
	第2分野	いろいろな生物とその共通点、気象とその変化、地球と宇宙など	
思考力・判断力・表現力等 [思考・判断・表現]	自然の事物・現象から問題を理解し、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート(考察等)</li> <li>・[章末・定期]テスト</li> <li>・授業・実験の発表</li> </ul>
	第1分野	身近な物理現象、化学変化と原子・分子、運動とエネルギーなど	
	第2分野	いろいろな生物とその共通点、気象とその変化、地球と宇宙など	
学びに向かう力、人間性等 [主体的に学習に取り組む態度]	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・レポート</li> <li>・授業の発言や態度</li> <li>・自己評価</li> <li>・ワーク</li> </ul>
	第1分野	身近な物理現象、化学変化と原子・分子、運動とエネルギーなど	
	第2分野	いろいろな生物とその共通点、気象とその変化、地球と宇宙など	

○評価：上記3観点をA・B・Cの3段階で表す。

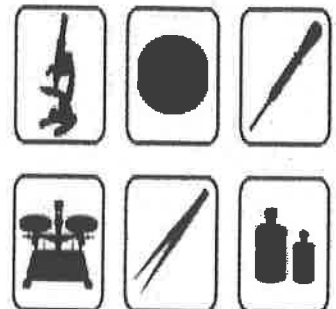
○評定：上記の観点別学習状況の評価をもとにして、1～5の5段階で表す。

## 4. 家庭学習のポイント

- ① 実験・観察や演示実験の前に内容を予習しておくことよい。
- ② 教科書を授業ノートやワークノート、レポート等を復習し、目的から考察までの内容を整理する。
- ③ 実験や観察を行ったときのレポート等は、その日のうちに書くようにするとよい。
- ④ 教科書の単元末の問題やワークの問題などできるだけ多くの問題を解き、授業及び実験の内容をより深める。

## 5. 使用教材

- ①教科書『新しい科学』東京書籍
- ②資料集『理科資料集』新学社
- ③ワーク『理科の自主学習』新学社
- ④確認テスト『観点別評価 W プリント』新学社



単元・教材（1年生の学習内容：105時間）

学期	単元	学習内容	学習活動
前期	いろいろな生物とその共通点	<b>第1章 生物の観察と分類のしかた</b> 第1節 身近な生物の観察 第2節 生物の特徴と分類 <b>第2章 植物の分類</b> 第1節 身近な植物の分類 第2節 果実をつくる花のつくり 第3節 裸子植物と被子植物 第4節 花をさかせず種子をつくらない植物 第5節 さまざまな植物の分類 <b>第3章 動物の分類</b> 第1節 身近な動物の分類 第2節 セキツイ動物 第3節 無セキツイ動物 第4節 動物の分類表の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物を観察するとき、どのような特徴に注目して、どのような方法で観察すればよいか考える。</li> <li>生物を分類するとき、どのような特徴に注目して分類することができるか考える。</li> <li>植物を分類するときには、どのような共通点や相違点に注目すればよいか考える。</li> <li>実や種子は、花のどのつくりと関係しているか調べる。</li> <li>果実をつくらない植物には、果実をつくる植物と比べると、どのような特徴があるか考える。</li> <li>種子をつくらない植物のからだのつくりとふえ方には、どのような特徴があるか調べる。</li> <li>植物を分類するとき注目する特徴を図や表にまとめる。</li> <li>動物を分けるとき、どのような共通点と相違点に注目すればよいか考える。</li> <li>セキツイ動物はどのようなグループに分類できるか考える。</li> <li>無セキツイ動物は、からだにどのような特徴があり、どのように分類できるか考える。</li> <li>どのような表や図をつくると、動物を適切に分類できるか考える。</li> </ul>
		<b>身のまわりの物質とその性質</b> 第1章 身のまわりの物質の調べ方 第1節 物の調べ方 第2節 金属と非金属 第3節 さまざまな金属の見分け方 第4節 白い粉末の見分け方 <b>第2章 気体の性質</b> 第1節 身のまわりの気体の性質 第2節 気体の性質と集め方 <b>第3章 水溶液の性質</b> 第1節 物質が水にとけるようす 第2節 溶解度と再結晶 <b>第4章 物質の姿と状態変化</b> 第1節 物質の状態変化 第2節 物質の状態変化と体積・質量の変化 第3節 状態変化が起こるときの温度と蒸留	<ul style="list-style-type: none"> <li>物体が何という物質でできているかを見分けるには、どのような方法があるか考える。</li> <li>金属と非金属との性質のちがいを調べる。</li> <li>金属と非金属のちがいの実験を行い、その結果からちがいを見いだす</li> <li>さまざまな金属を見分けるには、どうしたらよいか考える。</li> <li>見ただけでは見分けにくい粉末状の物質の種類を知るには、どのようにしたらよいか考える。</li> <li>身のまわりの気体にはどのような性質があるか調べる。</li> <li>気体の性質によって、気体の集め方はどのように変えたらよいか考える。</li> <li>物質が水にとけるとは、どのようになることか考える。</li> <li>水にとけている溶質をとり出すため、水を蒸発させる以外にどのような方法があるか調べる。</li> <li>身のまわりの物質も水のように姿を変えるか考える。</li> <li>物質が状態変化するとき、体積や質量はどうなるか調べる。</li> <li>液体どうしが混じり合った混合物を分けるには、どのようにすればよいか調べる。</li> </ul>
後期	身のまわりの現象	<b>第1章 光の世界</b> 第1節 物の見え方 第2節 光の反射 第3節 光の屈折 第4節 レンズのはたらき <b>第2章 音の世界</b> 第1節 音の伝わり方 第2節 音の性質 <b>第3章 力の世界</b> 第1節 日常生活のなかの力 第2節 力のはかり方 第3節 力の表し方 第4節 力のつり合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>物体を見ることができるとき、光はどのように目に届いているか考える。</li> <li>光が鏡などの物体で反射するとき、光はどのように進むか調べる。</li> <li>光が透明な物体を通りぬけると、光はどのように進むか調べる。</li> <li>凸レンズによる像のでき方には、どのような決まりがあるか調べる。</li> <li>振動している物体から出ている音は、どのように伝わるか考える。</li> <li>音の大きさや高さや音源の振動には、どのような関係があるか調べる。</li> <li>力は、どのようなはたらきをするか考える。</li> <li>ばねを引く力とばねののびには、どのような関係があるか調べる。</li> <li>物体にはたらく力は、どのように表すことができるか考える。</li> <li>2つの力が1つの物体にはたらくているのに物体が動かないとき、2つの力にはどのような関係があるか調べる。</li> </ul>
		<b>プロローグ</b> 身近な地形や地層、岩石の観察 <b>第1章 火をふく大地</b> 第1節 火山の姿からわかること 第2節 火山がうみ出す物 第3節 火山の活動と火成岩 第4節 火山とともにくらす <b>第2章 動き続ける大地</b> 第1節 地震のゆれの伝わり方 第2節 地震が起こるところ 第3節 地震に備えるために <b>第3章 地層から読みとる大地の変化</b> 第1節 地層のつくりとはたらき 第2節 堆積岩 第3節 地層や化石からわかること 第4節 大地の変動 第5節 身近な大地の歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な地形や地層、岩石を観察し、その特徴を記録する。</li> <li>マグマの性質と火山の形のどんな関係があるのか考える。</li> <li>火山灰がどのような物でできているのか調べる。</li> <li>火成岩の色やつくりについて調べ、ちがいがなぜ生じるか考える。</li> <li>火山とともにくらすために、大切なことは何か考える。</li> <li>震源で発生したゆれが、どのようにして伝わるか調べる。</li> <li>地震は、どのようなところでどのようにして起こるか考える。</li> <li>地震によって起こる被害を最小限におさえるためにはどのようなことが必要か考える。</li> <li>れき、砂、泥がどのようにして地層をつくるか考える。</li> <li>それぞれの堆積岩にどのような特徴があるか調べる。</li> <li>地層や化石から、どのようなことがわかるか考える。</li> <li>海底でできた地層が見られる山脈や山地は、どのような力でつくられるか考える。</li> <li>地層から大地の歴史を知るには、どのようなことを調べてまとめればよいか考える。</li> </ul>

## 【英語科】 シラバス (1年)

### 1 担当者

高田 裕太朗

### 2 学習の目標

- ① 英語学習の基本を学び、意欲的に学習に取り組むことができる。
- ② 学習した内容を使って、身近な事柄を表現することができる。
- ③ 初歩的な英語を聞いたり読んだりして、内容を理解することができる。
- ④ 英語という言葉に興味を持ち、その使い方の基礎を理解し、運用することができる。  
また、英語学習を通して、その背景にある文化を理解することができる。

### 3 評価の観点と方法

次の3つの点についてそれぞれ3段階 (A・B・C) で評価する。

評価の観点		方法
ア 知識・技能	○コミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。	発言、課題に対する取り組み、定期テスト、パフォーマンステスト、小テスト、等
イ 思考力・判断力・表現力等	○具体的で身近な話題について、互いの考えや気持ちなどを外国語で適切に伝え合っている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。	自己紹介、友だち紹介、定期テスト、授業中の表現活動、英作文、パフォーマンステスト、等
ウ 主体的に学習に取り組む態度	○他者を尊重し、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	授業中の態度、授業中の挙手・発言、パフォーマンステスト、提出物の状況、等

### 4 学習のポイント

- ① Teacher's Talk や音源を繰り返し聞き、内容を推測しながら聞くことに慣れる。
- ② 新出単語やよく使う単語、表現を繰り返し発音したり使ったりし、繰り返し練習することによって定着を図る。
- ③ 新出文法についても、理解するだけでなく、それを使って自己表現する。
- ④ 習ったことを使ってやりとりをしたり、自分の気持ちや意見を発表したりする。

### 5 使用教材

- ・教科書 「Here We Go! ENGLISH COURSE 1」 (光村図書)
- ・副教材 4線ノート、ワーク等、プリント用ファイル

### 6 年間の学習計画

学期	月	題材	主な学習内容	観点別評価具体例
4	4	教科書 UNIT	Round1 Unit 1~8	ア 英語であいさつできる。
		1. Here We Go	・授業での約束	ウ 授業での約束を守って学習に取り組むことができる。
		2. Club Activities	・アルファベットの読み書き	イ 簡単な自己紹介をすることができる。
		3. Enjoy the Summer	・フォニックス	ア 英語で説明されていることがおおまかに理解できる。
	5	4. Our New Friend	・英語のあいさつ	ア アルファベットの文字読みと音読みができる。
		5. This Is Our School	・自己紹介	
		6. Cheer Up, Tina	〈Round1 の内容〉	
	7. New Year Holidays in Japan	文字を使わずに、音声とピクチャーカードで教科書の全ユ		

	8. Getting Ready for the Party	ニットの内容をだまかに理解する。	ア アルファベットが読め、書くことができる。
6	前期中間テスト	Round2 Unit 1~8 ・フォニックス ・音読みテスト ・パフォーマンステスト（自己紹介） 〈Round 2 の内容〉 文字と音との関係を確認しながら内容理解を進める。	イ わかったことを積極的に伝える。 ウ たくさん英語を口にする。 ア 英単語をフォニックスの理論から発音できる。 ア 聞いたとおりの順番に教科書の英文を並べ替えることができる。 ア 英単語をフォニックスの理論から発音をする知識がある。
7		Round 3 Unit 1~8 ・パフォーマンステスト（ともだち紹介） ・単語テスト 〈Round 3 の内容〉 教科書の文字を見てたくさん読む。音の記憶が残っているうちに教科書の英文をノートに書き写す。	ウ 制限時間内に教科書をたくさん読むなど、積極的に反復練習する。 ウ 正確に本文を書き写すことができる。 ア ストーリーの登場人物の気持ちを理解することができる。 ア 英語らしく発音することができる。
9	前期期末テスト		
10		Round 4 Unit 1~8 ・パフォーマンステスト ・単語テスト 〈Round 4 の内容〉 穴あき音読などの活動で、本文を頭の中に残す。	イ 声量や身振りを工夫して相手に伝えることができる。 イ 自分の好きな物や人について相手に伝えることができる。 ア 先生やALT の話した英文を理解することができる。 イ 質問されたことに適切な返答をすることができる。
11	後期中間テスト		
12		Round 5 Unit1~8 ・パフォーマンステスト ・単語テスト 〈Round 5 の内容〉 教科書のイラストを見て、英語で説明する。自分の言葉で教科書のストーリーを仲間に伝える。教科書の表現で活用できるものはたくさん使う。	ウ イラストのことを積極的に伝えようとしている。 イ 自分の言葉を交えてイラストを説明できる。 ア 先生やALT の話した英文を理解することができる。 ア 質問されたことに適切な返答をすることができる。
1			
2	後期期末テスト		
3			

学習に対するワンポイントアドバイス

- とにかく授業が基本です。授業中は与えられた課題に集中して取り組みましょう。
- わからないことはすぐに英語担当の先生に質問をしましょう。そのままにしないことが大切です。
- 授業のあとは必ず復習し、内容を確実に深めましょう。内容を考えながら音読練習をすると効果的です。

# 美術科を学ぼう



## 1. 美術科としての特色とは

たくさんの用具や素材を扱いながら、自分の思いを表現していく学習です。思いは人それぞれ違った形で表現されます。思いを表現するためには試行錯誤しながら多くのことを考えます。これらの活動を通して次の3点が美術科の教科性になっています。

- ① 美的、造形的表現・創造    ②文化・人間理解    ③心の教育

これら3点を押さえ、生徒の自己実現を図り、生涯にわたって美術を愛好していく心情とその資質や基礎的能力を育成することをめざしています。

## 2. 指導計画

(1) 週時間数    1・2・3年生    週1時間の授業    (ただし1年生はI期は週2時間。)

(2) 授業計画、内容

学年	学期	題材名	学習の内容
1	前	美術との出会い・・・オリエンテーション	見つめると見えてくるもの・・・スケッチを勉強し、観察する姿勢や力を育てる。 文字っておもしろい・・・レタリングを学び、楽しい文字のデザインをする。(スケッチブック表紙) 折って、切って、巻いて・・・紙の加工法や技法を学び、紙を使ったデザインをする。
	後	暮らしに息づく土の造形・・・陶土の感触を楽しみながら焼き物の持つ造形的な良さを味わい、成形から焼成までの制作行程を理解し、制作する。 自然の美しさから生まれた・・・身近な素材を試行合成し、自分の気持ちを投影した抽象画を制作する。 鑑賞・・・それぞれの作品に込められた思いや意図を感じ取る。	
2	前	あなたの美を見つけて・・・オリエンテーション	心のイメージを形に・・・モダンテクニックとデッサンを組み合わせ、心象風景を表現する。 視点の冒険・・・視点や構図を工夫して、個性的な風景画を制作する。
	後	ジジジチカピカポッポッパ・・・光や影の特性を理解し、空間に与える印象を創作する照明器具を制作する。 季節を楽しむ心・・・日本の伝統的な表現方法や色彩を学び、季節感を取り入れた作品をデザインする。 鑑賞・・・それぞれの作品に込められた思いや意図を感じ取る。	
3	前	学びの探求と未来・・・オリエンテーション	仏像に宿る心・・・修学旅行前に仏像彫刻の良さや美しさを学ぶ。 今を生きる私へ・・・今の自分の内面を見つめ、自画像で表現する。
	後	自分へ贈る卒業記念品・・・サンドブラストの手法を学習し、ガラス皿を制作する。 ルネサンスが目指したもの・・・ルネサンス期の美術について学び、良さや美しさを鑑賞する。 イメージを追い求めて・・・彫刻作品が持つ形や材料の特徴をとらえ、篆刻の印面ともち手を制作する。 どこまで修復すべきか・・・文化財を通して、美術文化の継承と創造について考える。 動きを生かして印象的に・・・伝達の意図を考え、動画でコマーシャルを制作する。 社会に生きる美術の力・・・3年間の美術の学習を振り返って、付いた力を感じ卒業後の見通しを持つ。	

### (3) 学習目標

第1学年 ( ) 内は第2学年及び第3学年の学習内容を表しています。

- ① 楽しく(主体的に)美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てます。
- ② 対象を深く観察する力(深く見つめる力)、感性や想像力を高め(独創的・総合的な見方や考え方を培い)、豊かに発想し構想する能力や基礎的技能を身につけ、多様な表現方法や造形要素に関心を持ち(自分の表現方法を工夫し)、創意工夫し美しく表現する能力を育てます。
- ③ 自然や美術作品(文化遺産)などについての基礎的な理解や見方を広げ(心豊かに生きることと美術との関わりに関心を持ち)、良さや美しさなどを感じ取る鑑賞の能力を育てます。

## 3. 美術の学習の仕方

### (1) 1学年

美術表現に関する基礎知識と基本技術を習得し作品を制作する。また、美術作品の鑑賞の基礎を学ぶ。

### (2) 2学年・3学年

多様な美術表現の技術を生かした作品を制作する。また、心の内面を見つめ、自分の思いを感性豊かな表現で作品制作を行う。多様な美術作品の見方を学ぶ。

## 4. 授業の受け方

表現や鑑賞の活動(授業)を通して、創造活動の喜びが味わえるように、自分の思いを大切に最後まで粘り強く、苦心しながら試行錯誤を繰り返して作品の完成をめざす。

## 5. 美術科の評価の観点・方法

### (1) 評価の観点

知識・技能、思考力・判断力・表現力等、主体的に学習に取り組む態度 の3観点で評価する。  
(観点別学習状況の評価はA・B・C、評定は5段階で評価)

### (2) 評価の方法 (それぞれの題材によって評価の方法は異なることがあります)

#### 〔知識・技能〕

小テストや鑑賞、授業中の発表や制作の完成度、平面や立体での美術的な技能で評価します。

#### 〔思考力・判断力・表現力〕

アイディアスケッチの様子、制作材料、用具、技法の工夫、授業中の制作の様子、途中や完成作品などから判断します。

#### 〔主体的に学習に取り組む態度〕

制作への取り組み、完成作品の完成度、授業中の制作の様子や片付け、鑑賞での発表、プリントの内容などで評価します。

# 【音楽科】シラバス

## 1 【担当者】

1年～3年 亀山 広樹

## 2 【音楽科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。



### 各学年の目標

第1学年
(1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながら良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむと共に、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
第2学年及び第3学年
(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむと共に、音楽によって生活を明るく豊かなものにし音楽に親しんでいく態度を養う。

## 3 【音楽科の評価の観点及び評価・評定の方法】

	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性
観点項目	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ、感じたこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴いたり、表現している。	・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価方法	・実技テスト ・授業態度 ・学習プリント ・定期テスト	・実技テスト ・授業態度 ・学習プリント ・定期テスト	・授業準備 ・授業態度 ・学習プリント ・定期テスト ・実技テスト
評価	十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C	十分満足できる A おおむね満足できる B 努力を要する C

※教科の目標に照らして、学期ごとに各観点到に重みをつけて評定する場合があります。

#### 4 【音楽科の学習のしかた】

中学校の音楽では、生涯を通して音楽を愛好し、音楽活動の楽しさや喜びを得て、豊かな情操を養うことを目指しています。授業の内容は、表現及び鑑賞の活動に分けられます。

##### 表現の活動

- 歌 う こ と … 一人で歌う独唱、みんなで同じ旋律を歌う斉唱、各パートに分かれてハーモニーを作り合う合唱などを行います。
- 演奏すること… リコーダーを中心とした楽器や日本の楽器などを使って、ひとりで演奏したり、グループアンサンブルや合奏をしたりします。
- 創作すること… 簡単な節づくりや、和音づけをしたり、イメージしたことを自由に音で表現することなどを行います。

##### 鑑賞の活動

- 聴 く こ と… すすんで音楽を聴いて、それぞれのよさや美しさを感じ取り様々な音楽に親しむ活動を行います。

- ・別府中学校では、クラスごとの混声合唱の発表の場として、毎年10月末～11月頃に合唱コンクールを行っていますので、前期後半は表現活動の中の歌うことが中心になります。
- ・ピアノを習うなど、以前から音楽にかかわっていると、楽譜を読む力や、楽器の演奏の取りかきりはよいですが、中学校の音楽の活動の中でどのように取り組んでいるかが一番大切です。自分の持てる力を精一杯発揮して一生懸命取り組めるといいですね。

#### 5 【音楽科の授業で必要なもの】

- ・教科書（音楽・器楽）
- ・合唱曲集
- ・ファイル
- ・筆記用具
- ・アルトリコーダー

#### 6 【指導計画】

	1年 (45時間)	2年 (35時間)	3年 (35時間)
前 期	歌声をつくろう ・校歌 ・We'll Find The Way ・主人は冷たい土の中に ・エーデルワイス ・パフ	歌声をみがこう ・夢の世界を ・翼をください ・夏の日の贈りもの ・サンタルチア	日本&世界の愛唱歌に親しもう ・花 ・花の街 ・早春賦 ・帰れソレントへ ・Amazing Grace
	鑑賞 ・春 ・映画音楽から	鑑賞 ・フーガ ト短調 ・交響曲第5番 (運命)	鑑賞 ・ブルタバ (モルダウ) ・バレエについて
後 期	アルトリコーダーの基礎 ・リコーダー曲集より	リコーダーアンサンブル ・リコーダー曲集より	リコーダーアンサンブル ・リコーダー曲集より
	合唱コンクールに向けて ・学年合唱曲 ・各クラスの自由曲	合唱コンクールに向けて ・学年合唱曲 ・各クラスの自由曲	合唱コンクールに向けて ・学年合唱曲 ・各クラスの自由曲
	日本歌曲に親しもう ・赤とんぼ ・浜辺の歌	日本の歌の美しさを味わおう ・夏の思い出 ・荒城の月	箏に親しもう ・さくらさくら
	鑑賞 ・魔王 ・日本の伝統音楽 ・アジアの民族音楽 アルトリコーダーの基礎 リコーダーアンサンブル 送る会、卒業式の合唱曲	鑑賞 ・歌劇「アイーダ」 ・歌舞伎「勧進帳」  ギターの基礎 ・ギター曲集より 送る会、卒業式の合唱曲	鑑賞 ・尺八曲 ・能 ・世界の諸民族の音楽 グループアンサンブル 送る会、卒業式の合唱曲



# 第1学年 技術・家庭科(技術分野)シラバス

## 1 技術分野の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することを目指す。

## 2 学習内容

題材名	題材目標	主な学習内容
生活を豊かにする木材製品を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術と私たちの生活との関わりを理解する。</li> <li>作品の設計から完成までの見通しを持つ。</li> <li>製作のための材料の性質とその適切な利用方法を理解する。</li> <li>構想図の描き方を理解する。</li> <li>材料に適した工具の仕組みや安全で効率の良い使用方法を考える。</li> <li>設計に合った材料取りをする。</li> <li>適切な手順と方法で製作する。</li> <li>仕上げの仕方を理解し、丁寧な作業法を考える。</li> <li>これからの材料と加工の技術</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術と私たちの生活 (技術の進歩と豊かな生活)</li> <li>生活を調査しよう (製作品の構想・機能・構造)</li> <li>材料の特徴と加工方法を知ろう (材料(木材、金属、プラスチック)の選択)</li> <li>(構想の表示) (キャビネット図と等角図) (材料に適した工具の選択と安全な使用法)</li> <li>(効率の良い材料取り)</li> <li>(部品加工、組み立て)</li> <li>(塗装、仕上げ)</li> <li>材料と加工の技術の振り返り</li> <li>材料と加工の技術と私たちの未来 (環境保全と省エネルギーで生活の見直し)</li> <li>文書処理ソフトを用いて作成</li> </ul>
ラディッシュを栽培しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の育成に適する条件と、生物の育成環境を管理する方法を知る。</li> <li>目的とする生物の育成計画を立て、生物の栽培又は飼育ができる。</li> <li>生物育成に関する技術の適切な評価・活用について考える。</li> <li>これからの生物育成の技術</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物育成(作物・動物・水産生物・森林)</li> <li>栽培計画・フローチャート</li> <li>評価・活用</li> <li>生物育成の技術の振り返り</li> <li>生物育成の技術と私たちの未来</li> </ul>

## 3 評価の方法

- (1) 授業中の取り組み
- (2) 作業中の様子
- (3) 提出物
- (4) 定期テスト

	評価の観点	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識及び技能を習得している。</li> <li>すでに習得している知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で概念として理解したり、技能を習得したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペーパーテスト</li> <li>知識や技能を用いた発表</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>論述やレポートの作成、発表、話し合い、作品の制作や表現等</li> <li>ポートフォリオ</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に学習に取り組もうとしている。</li> <li>粘り強い取組を行おうとしている。自らの学習を調整しようとしている。</li> <li>※「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた上で評価をします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートやレポート</li> <li>授業中の発言</li> <li>教師による行動観察</li> </ul>

## 4 授業や家庭学習について

- (1) 何事に関しても興味関心を持とう。
- (2) グループの中で積極的に発言・行動し、活発な授業を行おう。

# 技術・家庭科(家庭分野)シラバス

1【担当者】植田君恵

2【技術・家庭科の目標】

生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活と技術の関わりについて理解を深め進んで生活を工夫し想像する能力と実践的な態度を育てる。

3【家庭分野の目標】

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

4【家庭分野の領域】

- A 家族・家庭生活
- B 衣食住の生活
- C 消費生活・環境

5【家庭分野の評価の観点の目標と評価の方法】

観点	観点の目標	評価の方法
知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかる技能を身につけている	定期テスト 単元テスト 実技テスト 製作物の提出 実習の様子等
思考力・判断力・表現力	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている	ノート、レポート等の提出物 授業中の発言等
主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている	授業中の発言、態度 ノート、レポート等の提出物等

6【評定】

上記3観点の観点別学習状況の評価をA・B・C基にして、5段階で評定を表す。

## 技術・家庭科(家庭分野)からのお願い

学習したことを家庭で実践する機会があると生活の技術が向上します。  
お手伝いは学習したことを家庭で実践する良い機会です。始めからうまくはできませんが、努力を褒めて、励まして下さい。生活の技能が向上し、自立を促します。

# 【保健体育科】シラバス 1年

1 【担当者】 目黒 拓 石川美穂

2 【保健体育科の目標】

- ① 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- ② 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- ③ 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

3 【保健体育科の評価観点と評価の方法】

	評価項目	評価方法
知識及び技能	① 各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方を知っている。 ② 各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法について理解できている。 ③ 運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方についての考えを理解できている。 ④ 各領域の運動の特性に応じた基本的な技能が身に付いている。 ⑤ 保健分野について個人生活を中心として科学的に理解するとともに、基本的な技能を身に付けている。	・提出物では、学習ノート、学習カードなど ・定期テスト ・学習ノート ・学習カード ・技能テスト ・試合、発表会 ・教師による観察
思判表	① 自己やチームの課題を発見し、課題解決に向けて運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫できる。 ② 自己の考えや仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	・学習ノート ・学習カード ・教師による観察
学人び間に性向等かう力	① 各単元に関心を持って、進んで取り組み、楽しもうとする。 ② 互いに協力し、練習や競技、試合、発表を行おうとする。 ③ 授業の約束や競技のルールを守り、「公正な態度」で活動することができる。 ④ 自分や仲間の健康や、活動場所・用具・服装の安全を確かめて活動しようとしている。	・教師による観察 ・試合、発表会 ・評価カード ・学習カード

A→「設定した評価規準」が十分に達成できる。

B→「設定した評価規準」がおおむね達成できる

C→「設定した評価規準」に対し、やや不十分である。

・ 評定のつけ方について

	知・技	思判表	学び	評定 5段階
観点別 評価	A	A	A	5
	・	・	・	4
	・	・	・	3
	・	・	・	2
	C	C	C	1

評定	評価の組み合わせ
5	AAA
4	AAB
3	ABB ABC ACC BBB BBC
2	BCC
1	CCC

4 【保健体育科学習の約束】

- ①チャイムまでに、指定の場所に集合する。
  - ②服装をしっかりと整える。(体育着は、ハーフパンツの中に入れる。髪の毛が長い人はゴムで縛る。)
  - ③忘れ物をしない。(・ハチマキ・教科書・実技の本・ファイル・保健学習ノート・筆記用具など)
  - ④号令に合わせ、大きな声で元気にあいさつをする。
  - ⑤やむをえず、見学の際は、親の承認を必ず見せること。  
(やりとり帳、またはメモ用紙等を書いてくる。)
- ※見学でもカードの記入・用具の準備や片づけ・その他やれる手伝いを進んでやること。  
※ジャージは11月～3月まで着用可。それ以外は、教室で脱いで学習の場に行くこと。

5 【学習内容とねらい】

運動領域	種目	学習のねらい
体づくり運動	体ほぐしの運動 体力を高める運動	自分の体に関心を持ち、体力に応じた課題を持って体ほぐしをしたり、体力を高めたりします。
陸上競技	リレー・短距離走	自分の能力に応じて目標を持ち、競技したり記録を高めたりできるようにします。
ダンス	創作ダンス	リズムに乗って体を動かしたり、感じを込めて踊ったりするとともに、作品の発表や鑑賞ができるようにします。
球技Ⅰ・Ⅱ	バレーボール ハンドボール	自分の能力やチームの課題に応じて運動の技能を高め、作戦を立て攻防のあるゲームができるようにします。
器械運動	マット運動	自分の能力に応じて運動の技能を高め、技が円滑にできるようにします。
武道	柔道	礼儀作法や、基本技を覚え、お互いに協力して基本練習ができるようにします。
陸上競技	長距離走	自分の能力に応じて目標を持ち、競技したり記録を高めたりできるようにします。
球技Ⅲ	ソフトボール バスケットボール	自分の能力やチームの課題に応じて運動の技能を高め、工夫してゲームができるようにします。
保健	「健康な生活と病気の予防」「心身の発達と心の健康」について、考えたり、調べたりしながら、正しい知識を身に付けられるようにします。	
体育理論	「スポーツの多様性」について、考えたり、調べたりしながら、正しい知識を身に付けられるようにします。	

## 第1学年「道徳」シラバス

- 1 【担当者】 各学年担当を原則とする。
- 2 【道徳教育とは】 人間が本来持っているよりよく生きたいという願いや、よりよい生き方を求め実践する人間の育成を目指し、その基盤となる道徳性を養う教育活動
- 3 【道徳の目標】 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他の社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心を持ち、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図るとともに、公共の精神を尊び、民主的な社会及び国家の発展に努め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し未来を拓く主体性のある日本人を育成するため、学校の教育活動全体を通じて道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養うこと
- 4 【指導場面】 道徳の時間（週1時間）をはじめ各教科、総合的な時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて行う。
- 5 【道徳の時間における指導内容】 \*道徳は、年間を通して文章による評価があります。
  - A 主として自分自身に関すること
    - (1) 自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと
    - (2) 望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする
    - (3) 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること
    - (4) より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること
    - (5) 真実を大切にし、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること
  - B 主として人との関わりに関すること
    - (6) 思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること
    - (7) 礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること
    - (8) 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと
    - (9) 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと
  - C 主として集団や社会との関わりに関すること
    - (10) 法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること
    - (11) 正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること
    - (12) 社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること
    - (13) 勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること
    - (14) 父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと
    - (15) 教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風をつくるとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実を努めること
    - (16) 郷土の伝統と文化を大切に、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること
    - (17) 優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに、日本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び社会の形成者として、その発展に努めること
    - (18) 世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること
  - D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること
    - (19) 生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること
    - (20) 自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること
    - (21) 美しいものや気高いものに感動する心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること
    - (22) 人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きること喜びを見いだすこと
- 6 【使用教材】 新しい道徳1（東京書籍） 彩の国の道徳 『自分を見つめて』、『心の絆』、『未来に生きる』  
（埼玉県教育委員会） 道徳ポートフォリオ

# 主題名一覧表(第1学年)

※郷土・偉人教材は、学年の実態に応じ、内容項目の近い主題と入れ替え、指導する。

学期	月	週	主題名	内容項目	教材名	出典
前	4	2	あいさつを交わして	B(7)礼儀	朝市の「おはようございます」	新しい道徳 東京書籍
		3	義務について考えよう	C(10)遵法精神、公德心	選手に選ばれて	新しい道徳 東京書籍
		4	充実した生き方を求めて	A(3)向上心、個性の伸長	男らしさ女らしさ、自分らしさ	彩の国道徳 未来に生きる
	5	2	いじめのない世界へ	B(9)相互理解、寛容	いじめに当たるのはどれだろう	新しい道徳 東京書籍
		3	いじめのない世界へ	A(1)自主、自律、自由と責任	傍観者でいいのか	新しい道徳 東京書籍
		4	いじめのない世界へ	A(1)自主、自律、自由と責任 B(8)友情、信頼	ふたつの心	新しい道徳 東京書籍
	6	1	安全な生活のために	A(2)節度、節制	山に来る資格がない	新しい道徳 東京書籍
		2	安全で健康な生活	A(2)節度、節制	古びた目覚まし時計	新しい道徳 東京書籍
		3	友達とともに	B(8)友情、信頼	班での出来事	新しい道徳 東京書籍
		4	働くってどんなこと?	C(13)勤労	新しいプライド	新しい道徳 東京書籍
	7	1	ボランティア活動に参加して	C(12)社会参画、公共の精神	乗券号に乗って	新しい道徳 東京書籍
		2	ふるさとのために	C(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	ぼくのふるさと	新しい道徳 東京書籍
9	1	いのちを考える	D(19)生命の尊さ	あなたはひかり	新しい道徳 東京書籍	
	2	いのちを考える	D(19)生命の尊さ	いのちって何だろう	新しい道徳 東京書籍	
	3	いのちを考える	D(19)生命の尊さ	決断! 骨髄バンク移植第一号	新しい道徳 東京書籍	
	4	心に郷土を刻もう	C(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	郷土を彫る	新しい道徳 東京書籍	
10	1	だれもが気持ちよく過ごせる社会を目指して	C(10)遵法精神、公德心	ごみ箱をもっと増やして	新しい道徳 東京書籍	
	2	よりよいクラス活動を目指して	C(15)よりよい学校生活、集団生活の充実	全校一を目指して	新しい道徳 東京書籍	
	3	いきいきとかがやいて	C(13)勤労	「看護する」仕事	新しい道徳 東京書籍	
	4	その人が本当に望んでいること	B(6)思いやり、感謝	その人が本当に望んでいること	新しい道徳 東京書籍	
11	1	その人が本当に望んでいること	B(6)思いやり、感謝	思いやりの日々	新しい道徳 東京書籍	
	2	家族の思いにふれて	C(14)家族愛、家庭生活の充実	靴	新しい道徳 東京書籍	
	3	クラスの生活をよくするために	C(11)公正、公平、社会正義	席替え	新しい道徳 東京書籍	
	4	クラスの生活をよくするために	C(11)公正、公平、社会正義	いじめっ子の気持ち	新しい道徳 東京書籍	
12	1	心の弱さを乗り越えるために	D(22)よりよく生きる喜び	銀色のシャープペンシル	新しい道徳 東京書籍	
	2	挑戦し続けること	A(4)希望と勇気、克己と強い意志	風を感じて—村上清加のチャレンジ	新しい道徳 東京書籍	
	3	新しいものを生み出すときに	A(5)真理の探究、創造	「どうせ無理」という言葉に負けない	新しい道徳 東京書籍	
1	2	情報モラルと友情	B(8)友情、信頼	短文投稿サイトに友達の悪口を書く	新しい道徳 東京書籍	
	3	世界の人々とつながる	C(18)国際理解、国際貢献	山岳民族の文化を守る	新しい道徳 東京書籍	
	4	公共の精神とは	C(12)社会参画、公共の精神	本が泣いています	新しい道徳 東京書籍	
	1	自然の力と向き合って	D(21)感動、畏敬の念	火の島	新しい道徳 東京書籍	
2	2	人の気持ちが分かる人間を目指して	B(9)相互理解、寛容	落語が教えてくれること	新しい道徳 東京書籍	
	3	生きることのすばらしさを感じて	D(22)よりよく生きる喜び	花に寄せて	新しい道徳 東京書籍	
3	1	自然とのつながりを考えよう	D(20)自然愛護	桜に集う人の思い	新しい道徳 東京書籍	
	2	日本の伝統と文化にふれて	C(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	古都の雅、葉子の心	新しい道徳 東京書籍	
郷土・偉人教材			時と境をわきまえた言動を考えよう	C(10)遵法精神、公德心	マナーは考えなくていいのか	彩の国の道徳 『自分を見つめて』7
			人間らしい心の営み—「思いやり」—	B(6)思いやり、感謝	母の誘い	彩の国の道徳 『自分を見つめて』8
			たがいに励まし合い、高め合い、協力を惜しまない—真の友情—	B(8)友情、信頼	仮入部	彩の国の道徳 『自分を見つめて』9
			「家族」って何だろう?	C(14)家族愛、家庭生活の充実	何だっていいんだあ	彩の国の道徳 『自分を見つめて』24

## 令和6年度特別活動シラバス

### 1. 全体統括 上原 涼也

### 2. 特別活動とは

学級活動、生徒会活動、学校行事の3つで構成されている。これらの活動を通して、好ましい人間関係を形成するために必要な能力や態度、所属する集団の向上に努めようとする態度、社会の一員としての自覚と責任ある態度、人間としての生き方を探求し自己を生かす能力や態度などを養う教育活動のことを指す。

### 3. 目標

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

### 4. 学級活動の目標と内容

**目標** 学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。

#### 学級活動の3つの内容

- (1) 学級や学校の生活づくり
- (2) 適応と成長及び健康安全
- (3) 学業と進路

#### ねらい

学級活動は、各学級を単位として、学級や学校生活への適応を図るとともに、その充実と向上、当面する諸課題への対応及び健全な生活態度の育成に資することをねらいとする。

#### 学級活動とは

- (1) 学級を単位として行われる生徒の自主的、実践的な活動である。
- (2) 学級を場として、学級や学校の生活への適応を図る活動である。
- (3) 学級生活を基盤に、集団や社会の一員としての望ましい資質や能力・態度を育てる活動である。
- (4) 当面する諸課題の解決を通して生徒自らが自己指導能力を養う活動である。
- (5) 特別活動における人間としての生き方に関する指導が行われる中心的な活動の場である。

## 1年生の学習内容

		活動計画	内 容	
前 期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生になったの抱負</li> <li>・学級目標をつくろう</li> <li>・学級の組織をつくり、係・委員会等を決定しよう</li> </ul>	適応と成長及び健康安全 学級や学校の生活づくり "	
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく充実した林間学校にしよう</li> <li>・学習方法、個人目標を考え計画表をつくろう</li> <li>・学級や学年の諸問題を解決しよう</li> </ul>	学級や学校の生活づくり 学業と進路 学級や学校の生活づくり "	
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒総会に積極的に参加しよう</li> <li>・話し合い活動のルール、マナーを知ろう</li> <li>・神川林間学校に向けて準備しよう。</li> </ul>	学級や学校の生活づくり "	
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・充実した夏休みにしよう</li> <li>・自己の生き方について考えよう</li> </ul>	適応と成長及び健康安全 学業と進路	
	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校内外<small>ないがい</small>における安全について考えよう</li> </ul>	適応と成長及び健康安全	
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの力で体育祭を成功させよう</li> </ul>	学級や学校の生活づくり	
	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期の学級生活を振り返ろう</li> <li>・後期の生活を考えよう</li> <li>・後期の係等、組織を決定しよう</li> </ul>	適応と成長及び健康安全 学級や学校の生活づくり 学級や学校の生活づくり	
	後 期	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達のよさを知ろう</li> <li>・学習上の問題点や悩みを解決しよう</li> </ul>	学級や学校の生活づくり 学業と進路
		12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来に向けての進路計画について考えよう</li> <li>・思春期の心と体の健康について考えよう</li> <li>・充実した冬休みにしよう</li> </ul>	学業と進路 適応と成長及び健康安全 学級や学校の生活づくり
		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画<small>さんかく</small>社会について考えよう</li> <li>・新年の目標を考えよう</li> <li>・働くことと生きがいについて考えよう</li> </ul>	適応と成長及び健康安全 "
2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・心の健康について学ぼう</li> <li>・1年間を振り返って</li> </ul>	学業と進路 適応と成長及び健康安全 学級や学校の生活づくり	
3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・春休みの過<small>す</small>ごし方を考えよう</li> </ul>	学級や学校の生活づくり	



令和6年度 1年総合的な学習の時間 シラバス

熊谷市立別府中学校

1年テーマ「環境・職業」(50時間)

	単元	○学習活動 ・具体的な活動例	指導上の留意点
4	16	<p>学び方を知ろう</p> <p>○オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の総合的な学習の時間のねらい、学習内容、学習方法等について知る。</li> </ul> <p>○ベース学習に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設・備品等の利用方法を学ぶ。</li> <li>・課題の設定方法・調べ方、まとめ方、発表方法等を学ぶ。</li> </ul> <p>○NIEに取り組む(通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文を読む力、書く力を養う。</li> <li>・世の中のことを知る。</li> <li>・情報を集める、まとめる、提示する力を養う。</li> <li>・聞く人に分かりやすく説明する、発表する力を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年全生徒を対象に、ねらい、内容、学習方法等を映像・画像などを利用して過去の研究例を例示しながら説明する。</li> <li>・学校の施設の利用の仕方を説明する。</li> </ul>
5			
6			
7	16	<p>長瀬の自然に親しもう</p> <p>○長瀬の自然に学ぶ</p> <p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神川林間の事前学習を通して研究テーマを設定する。</li> </ul> <p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参考文献等から調べ学習を行う。</li> <li>・現地調査や検証活動を行う。</li> <li>・見学、観察、調査、交流などを行う。</li> </ul> <p>【整理・分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントの作成方法を学ぶ。</li> <li>・学習を振り返り、資料の整理・分析をする。</li> </ul> <p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントにまとめる。</li> <li>・資料の読みあいや発表会を行う。</li> <li>・自己評価と相互評価を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ設定について過去の事例や資料を提供し、生徒の視野を広げる。</li> <li>・情報収集の仕方を例示する。</li> <li>・調査・収集した資料をまとめ、俳句や写真を取り入れながらパワーポイントにまとめさせる。パワーポイントにまとめることは初めてなので丁寧に指導する。</li> <li>・意見交換や質疑応答の機会を設ける。</li> </ul>
9			
10			
11	26	<p>熊谷・別府を調査研究し、プレゼンしよう</p> <p>ふるさと別府から広めよう</p> <p>○ふるさと Beppu セミナー①</p> <p>【課題設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域(別府地区)で自分たちができることは何かを話し合い、研究テーマを決定する。</li> <li>・研究グループをつくり、研究計画をたてる。</li> </ul> <p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調査や実習などを行う。</li> <li>別府沼観察7月</li> <li>出前授業の実施12月等</li> <li>・参考文献等で調べ学習を行う。</li> <li>・中間報告会をする。</li> </ul> <p>【整理・分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を種類ごとに分類して整理する。</li> <li>・個人で新聞にまとめる。</li> <li>・プレゼンテーションの準備に取り組む。</li> </ul> <p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表会を行う。</li> <li>・自己評価・相互評価を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校での学習を想起し、自分たちでできる活動を話し合わせる。</li> <li>・別府沼公園や近郊の駅などに出かけてボランティア活動を行う。</li> <li>・連想マップづくりなどの発想を磨く活動を通して課題の設定に取り組ませる。</li> <li>・学び方・ものの考え方、表現方法を自己の研究に取り入れられるようにする。</li> <li>・調査、収集した資料をまとめ、写真やグラフを取り入れながら新聞を作成し、自然や文化への関心を深めさせる。</li> <li>・プレゼンテーションにまとめ、自分にできることを考え、行動できるようにする。</li> <li>・情報収集の仕方を例示する。</li> </ul>
12			
1			
2	8	<p>働く人々から学ぼう</p> <p>○働く人々から学ぼう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことの意義について考える。</li> <li>・身近の働く人にインタビューをし、レポートにまとめ、発表する。</li> <li>・職業調べをし、ポスターセッションを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のねらい、内容を確認する。</li> <li>・2年生の職場体験学習に向けて働くことの意義や目的、職業に就くことについてじっくりと考えさせる。</li> <li>・自己の適性や生き方を考えることができるようにする。</li> </ul>
3			
4			

# 別府中 当たり前の20ヶ条

- 1 あいさつは 先にするのが 当たり前
- 2 時間は 守って生活するのが 当たり前
- 3 授業中は 真剣に受けるのが 当たり前
- 4 清掃は きれいに終了するのが 当たり前
- 5 食事は きれいに食べるのが 当たり前
- 6 服装は 正しく着るのが 当たり前
- 7 約束は 守って行動するのが 当たり前
- 8 間違いは すぐに訂正するのが 当たり前
- 9 ありがとう・ごめんなさいを 素直に言えるのが 当たり前
- 10 友だちは 大切にすることが 当たり前
- 11 朝ご飯は しっかり食べるのが 当たり前
- 12 呼ばれたら 「はい」と返事が 当たり前
- 13 部活動 がんばることが 当たり前
- 14 困っていたら 優しくするのが 当たり前
- 15 悪いこと 悪いと言えるのが 当たり前
- 16 良いことは 進んでやるのが 当たり前
- 17 持ち物は 必ず確認するのが 当たり前
- 18 悩んだら 人に相談するのが 当たり前
- 19 いじめは 絶対しないぞ 当たり前
- 20 嫌なこと 誰もが同じだ 当たり前



